

# 山梨県における被害状況及び対策実施状況について

## 1. 本県における被害の状況

本県では、令和元年度に初めてナラ枯れ被害が確認され、その後令和3年度にかけては、峡南地域や富士北麓地域を中心に県下15市町村に被害が拡大し、被害量も増加した。令和4年度においては、新たに南アルプス市、甲州市、中央市、富士川町の4市町で被害が確認され、県下19市町村に被害は拡大した一方で、県全体の被害量は前年度の4割となり、減少に転じた。

令和5年度では、新たに韮崎市、北杜市、甲斐市、山梨市、市川三郷町の5市町で新たに被害が確認されたが、県全体の被害量は前年度の6割となり、昨年度に引き続き減少している。

各市町村における被害量及び被害発生分布は、次のとおり。

表1 令和元年度被害の状況

市町村	材積/m <sup>3</sup>		
	県	民	計
身延町	-	2	2
南部町	-	35	35
山中湖村	2	-	2
合計	2	37	39



図1 令和元年度被害発生市町村



表2 令和2年度被害の状況

市町村	材積/m <sup>3</sup>			
	県	民	国	計
甲府市	2			2
富士吉田市	7	1		8
都留市	1			1
笛吹市		8		8
早川町		3		3
身延町	449	98		548
南部町	44	869	293	1,205
道志村		56		56
忍野村		25		25
山中湖村	684	20		704
鳴沢村	17	4		21
富士河口湖町	182	69		251
合計	1,386	1,153	293	2,831
対前年度比(倍)	693	31	-	73



図2 令和2年度被害発生市町村

新たに被害が確認された市町村

表3 令和3年度被害の状況

市町村	材積/m <sup>3</sup>			
	県	民	国	計
甲府市	1	25		26
富士吉田市	125	64	25	213
都留市	89	123		212
大月市	5			5
笛吹市	2	43		45
上野原市	18	25		43
早川町	5	24		29
身延町	1,417	384		1,801
南部町	69	1,484	556	2,108
道志村		1,162		1,162
西桂町	6			6
忍野村		193		193
山中湖村	1,721	1,177		2,898
鳴沢村	95	4		99
富士河口湖町	313	220		533
合計	3,866	4,927	581	9,373
対前年度比(倍)	2.8	4.3	2.0	3.3



図3 令和3年度被害発生市町村

新たに被害が確認された市町村



表4 令和4年度被害の状況

市町村	材積/m <sup>3</sup>			
	県	民	国	計
甲府市	4	48	0	53
富士吉田市	1	37	6	44
都留市	87	54		141
大月市	5			5
南アルプス市		2		2
笛吹市	42	69		111
上野原市	33	71		104
甲州市	3	170		173
中央市		0		0
早川町	8	10		18
身延町	345	63		408
南部町	0	46	143	189
富士川町	8			8
道志村		676		676
西桂町	2	5		7
忍野村		160		160
山中湖村	493	1,080		1,573
鳴沢村	20			20
富士河口湖町	64	29		94
合計	1,118	2,521	149	3,789
対前年度比(倍)	0.3	0.5	0.3	0.4

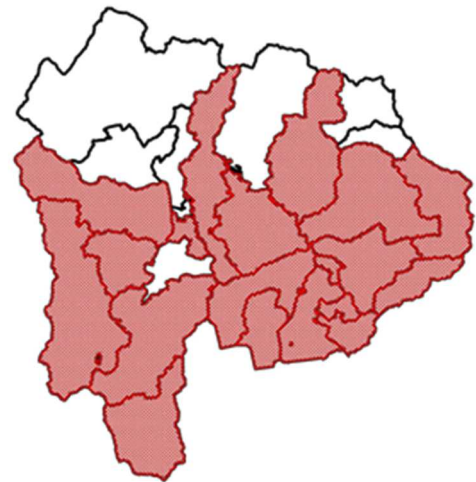


図4 令和4年度被害発生市町村

新たに被害が確認された市町村

表5 令和5年度被害の状況

市町村	材積/m <sup>3</sup>			
	県	民	国	計
甲府市	35	141	21	196
韮崎市		20		20
南アルプス市		12		12
北杜市	2			2
甲斐市	1			1
中央市		45		45
山梨市		20		20
笛吹市	36	160		196
甲州市		217		217
市川三郷町		5		5
早川町		9		9
身延町	7	25		32
南部町		7	31	38
富士川町		3		3
富士吉田市	7	79	8	93
都留市	111	85		196
大月市	32			32
上野原市	79	81		160
道志村		605		605
(西桂町)				
忍野村		63		63
山中湖村	255	28		282
鳴沢村	17			17
富士河口湖町	14	56		69
合計	596	1,620	60	2,276
対前年度比(倍)	0.5	0.6	0.4	0.6

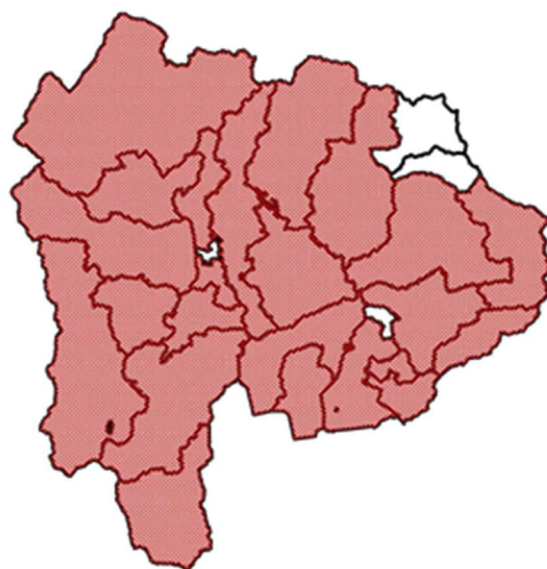


図5 令和5年度被害発生市町村

新たに被害が確認された市町村

注

- ・市町村ごとに小数点以下第1位を四捨五入した。
- ・四捨五入により合計と一致しない場合がある。
- ・被害の発生していないものを「-」、0.5 m<sup>3</sup>未満の被害が発生しているものを「0」としている。